

# Philippine Nikkeijin Diasporas

## Thinking a Sense of Home and Belonging through Migrations



### 講演者

飯島真里子准教授

(上智大学外国語学部

/グローバル・スタディーズ研究科)

オックスフォード大学大学院で歴史学の博士号を取得後、上智大学で非常勤講師を経て、現職。同大学のアメリカ・カナダ研究所所長を兼務。戦前に海外へ移民し、コーヒー栽培に従事した日本人とその社会に関する歴史について研究。

国際教育センターでは2月7日(水)から2月16日(金)まで、「移民」をテーマとして開催する第7回国際学生フォーラムを実施します。海外協定校から14名の学生を招聘し、本学学生と共に人の移動に関して考えます。そこで、プログラムの一部である講演会を一般公開しております。是非、多くの皆さんに参加していただき、一緒にフィリピンの日系人の歴史と現状を事例に人の移動に関して、考えたいと思います。

### 講演内容

The Asia-Pacific war caused serious damage to the Japanese immigration community in Davao, the Philippines. Some of them were forced to repatriate to their ancestral homeland right after the war, others **reluctantly** remained in the Philippines and encountered discrimination after WWII. By looking at various migrations of these two groups of people between Japan and the Philippines from 1945 to the present, this lecture examines a complicated and multifaceted sense of home and belonging of transnational migrants.

日 時：2018年2月12日(祝・月) 10:00~11:30

場 所：共通講義棟1号館304室

使用言語：英語(通訳なし)

申込方法：[info-forum@cc.ocha.ac.jp](mailto:info-forum@cc.ocha.ac.jp) まで①お名前②ご所属③ご連絡先の3点を2月7日(水) 17:00までにお送りください。

【お問い合わせ先】

国際学生フォーラム事務局(国際教育センター)

e-mail: [info-forum@cc.ocha.ac.jp](mailto:info-forum@cc.ocha.ac.jp)